

公共交通シンポジウム in 飛騨高山

～日本一広い市のおでかけを日本一豊かにするために～

全国の公共交通において、人口の減少に伴う利用者減少や運転手不足により、バス路線をはじめ公共交通の維持が困難となってきています。日本一広い面積の広い高山市においても、例外ではなく、移動手段をどのように維持していくのか、自分事として考えていただく機会として、シンポジウムを開催します。

<日にち>

令和7年11月8日（土）

<場所>

こくふ交流センター さくらホール（高山市国府町広瀬町880-1）

<タイムスケジュール>

13:30 開会

13:50 第一部

基調講演「日本一広い市のおでかけを日本一豊かにするために」

加藤 博和 氏（名古屋大学大学院 教授）

14:45 第二部

パネルディスカッション

コーディネーター 加藤 博和 氏（名古屋大学大学院）

パネリスト 佐古 徹 氏（岐阜県タクシー協会）

〃 中井 剛彦 氏（高根まちづくりの会）

〃 多賀 泰歩 氏（国府町まちづくり協議会）

〃 青木 稜奈 氏（高山西高等学校）

〃 加藤 滉大 氏（高山西高等学校）

〃 上田 和史 氏（高山市副市長）

15:30 閉会

<参加料>

無料



<その他・駐車場>

同日10:00～15:00、こくふ交流センター及び同駐車場において、バスをはじめとする働く車が集まる「のりものフェスタ」を開催しますので、是非、お越しください。

※駐車場は、高山市国府B&G海洋センター（国府町広瀬町2567-1）又は福祉の里（国府町木曾垣内650）をご利用ください。※福祉の里からこくふ交流センターへのシャトルバス運行

<お問い合わせ先>

高山市公共交通活性化協議会

事務局：高山市役所都市計画課

電話：0577-57-7444



★駐車場はコチラ★

国府B&G海洋センター



★駐車場はコチラ★

福祉の里



★場所はコチラ★



加藤 博和（かとう ひろかず）
名古屋大学大学院環境学研究科教授
（地域公共交通プロデューサー）
高山市公共交通活性化協議会副会長
1970年、岐阜県多治見市生まれ。
1992年、名古屋大学工学部土木工学科卒業。1997年、同工学研究科博士後期課程修了（工学博士）。
同工学研究科助手、環境学研究科准教授を経て、2017年より現職。

地球環境にやさしい脱炭素型交通体系・まちづくり実現のための政策検討をテーマとして研究活動を行う傍ら、地域公共交通プロデューサーとして、自治体・地域住民団体や交通事業者・労働組合等と協力しての「現場」での公共交通企画に携わり、公共交通に関するアドバイザーや講演活動も行っている。

国土交通省の委員として、道路運送法改正の方針づくりに参画し、地域公共交通会議の枠組みを提案、その考え方は地域公共交通活性化再生法（地域交通法）制定に受け継がれた。

また、国土交通省「交通政策審議会」委員を務め、2022年に開かれた「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」、「アフターコロナに向けた地域交通の『リ・デザイン』有識者検討会」の両委員として活動。その提言内容は、2023年10月施行の改正地域交通法の骨格となっており、国の公共交通や自家用有償運送（公共ライドシェア）に関する制度見直しに一貫して関わっている。

